

## 第18回 教育研究評議会議事要録

- 日時 平成17年7月20日(水) 午後1時00分～午後2時10分
- 場所 生活環境学部会議室
- 出席者 久米学長、清水理事、井上理事、岡本理事、奥村文学部長、野口理学部長、  
上野生活環境学部長、矢野人間文化研究科長、的場附属図書館長、水上附属学校部長、  
出田、森岡、富崎、磯田、小城、今井、坂本各評議員
- 欠席者 池原評議員
- 列席者 位田総務・企画課長、上岡人事課長、河井国際課長、吉田研究協力課長、  
松田財務課長、荒生施設企画課長、山本学務課長、岸田学生生活課長、新宮入試課長、  
岡本図書課長

議事に先立ち、

- (1) 学長より、岡本事務局長を7月1日付けで理事(管理運営担当)に任命したこと、及び  
今回から教育研究評議会評議員として会議に加わっていただくことの報告があった。
- (2) 前回記録を確認。

### I 審議事項

#### 1. 学内諸規程の制定について

- (1) 奈良女子大学における疫学研究実施規程の一部改正(案)について
- (2) 奈良女子大学疫学研究倫理審査委員会規則の一部改正(案)について

研究協力課長から、資料1-1～1-2により改正の趣旨及び内容について説明があり、学長から諮られ、審議の結果、原案どおり承認し、本日付けで施行し、平成17年4月1日から適用することとした。

また、学長から疫学研究の実施に係る手続き等、制度の周知徹底について再度依頼があった。

#### 2. 平成17年度プロジェクト経費採択(案)について

清水理事から、平成17年度プロジェクト経費について学内募集を行い、採択審査会での審査を経てプロジェクト経費採択原案を決定したこと及び資料2により採択原案の内容について説明があり、学長から諮られ、審議の結果、原案どおり承認し、採択結果を各部局へ通知することとした。

なお、各部局への通知に当たっては昨年と同様に、採択されたプロジェクトについて申請額を除き通知することとした。

また、不採択者について請求があれば情報を開示することとした。

## Ⅱ 報告事項

### 1. 平成16年度決算について

財務課長から、資料3により平成16年度決算の内容について説明があり、併せて平成16年度決算書を6月30日に文部科学省へ提出した旨報告があった。

### 2. 研究者情報データベース項目等について

清水理事から、各学部等で検討され提出された意見について報告があり、今後、これらの意見を踏まえ評価企画室において更に検討を行い、9月中を目途にデータベース項目の最終案を提示する予定である旨報告があった。

なお、学長から教員評価は教員の序列化ではなく、活性化を図ることを目的とするものであるなどの補足説明があった。

また、清水理事から評価企画室において資料4のとおり大学の評価に関する研修会を計画している旨説明があり、学長からこれらの研修会について参加の周知依頼があった。

### 3. 奈良女子大学TOEIC実施委員会設置要項の制定について

井上副学長から、6月10日の教育・学生支援統括室会議の議を経て、6月14日に学長裁定により制定したTOEIC実施委員会設置要項の趣旨及び内容等について、資料5により報告があった。

### 4. 第5回経営協議会及び第14回役員会について

学長から、6月22日に開催された経営協議会の審議事項及び6月24日に開催された役員会の審議・決定事項について報告があった。

### 5. 古代学学術研究センター長について

学長から、古代学学術研究センター長について文学部の松尾良樹教授を選出した旨報告があった。

### 6. 国際交流センター教員人事の取扱いについて

学長から、国際交流センター教員人事について、任期を付してアジア系外国人教師の採用を計画している旨報告があり、人事選考委員会のメンバーが決まり次第報告する旨説明があった。

### 7. 奈良女子大学「奈良町セミナーハウス」について

学長から、平成15・16年度の地域貢献特別支援事業のひとつである「奈良町の町並み保全・活用支援事業」として活動を進めてきた空家再生・活用事業に関し、奈良町所在の家屋について「奈良女子大学奈良町セミナーハウス」として利用することの協力が得られ、6月27日に利用のための覚書を交わしたことの報告があった。

### 8. 公募型競争的プログラムについて

学長から、国公立大学を通じた大学教育改革支援プログラムのうち、現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）について本学から申請した「地域の変革を促す女性人材育成プログラム」がヒアリングの対象となり、7月19日に文部科学省にて内容説明を行った

旨報告があった。

また、7月28日応募締切の魅力ある大学院教育イニシアティブ(大学院GP)について、大学院人間文化研究科(博士後期課程)の専攻で申請に向けた計画書を作成中である旨報告があった。

#### 9. その他

- (1) 学長から、アスベスト問題の対策について、現在施設企画課に附属学校を含めた建物でのアスベストの使用状況の調査を依頼中である旨説明があった。

また、学長裁量経費について今年度は何らかの形で実施したいこと及び実施計画が決定次第通知する旨説明があった。

- (2) 附属図書館長から、電子ジャーナルの継続に向けた対応策について検討中であり、全学的な支援についての協力依頼があった。

また、本学倉庫に保管されていた明治時代後期のグランドピアノについて、活用に向けて現在修理中である旨報告があった。

次回教育研究評議会を9月21日(水)に開催することとして散会

以 上